

風景を味わう
水郷のよさを
活かしました!

今もなお、田舎で通って
田んぼを営んでいる
湖上の飛び地「権座」。
この貴重な湖国の原風景を
次世代に残すため
「渡船」という名の酒米を
「権座」で育つ。
農家も酒蔵もまぼろしの住民も
一緒になって
こだわりの地酒「権座」が
誕生しました。



わたしのふるさと。
みんなのふるさと。
権座
いんざ
TM

権座酒造 55% 純米 純米吟醸酒
2009/3/29 (日) 『権座』デビュー!!

春の権座の風景とともに、純米吟醸酒「権座」(新酒生酒)の完成と「権座・水郷を守り育てる会」の「船出」を祝う祝典&新酒賞味会を開催する予定です。ぜひご参加ください。

権座・水郷を守り育てる会
会員募集中!!
<http://gonza.jp>

〒523-0803 滋賀県近江八幡市白王町集落営農組合内
TEL 090-8124-7649 (大西) Email staff@gonza.jp

「宝物と宝探し～素晴らしい風景が農業を守る」

水郷を活かした農の里づくり

白王町集落営農組合/権座・水郷を守り育てる会
代表理事&会長 東 房男

西の湖周辺区域



蒲生郡島村白部前浜より権座を望む(昭和10年)

半農半漁の生活

昭和10年の白王町の風景

大中の湖干拓まではまさに「陸の孤島」といわれるほど交通不便地であった。

特に戦前までは買い物や通院、物資の運搬、結婚時の嫁入りなどは船で往来していた。





昭和30年代の白王町(権座・大葭を望む)

昭和37年大中の湖干拓前



昭和59年以降干拓・圃場整備後



権座（島状の田）



日本経済新聞社提供

現在でも交通手段が唯一船しかない
内湖にある島状のたんぼ「権座」や「巴」など
葦地内の水田に舟で通い耕作を続けている。

京都大学森・里・海プロジェクト提供



滋賀県立大学提供





むらづくりの動機・背景

- 半農半漁の集落、田船で耕作
(農地保有面積1戸当たり平均50a)
- 昭和40年に大中の湖干拓完成
入植者13戸、増反者37戸
- 近代化農業が急速に進み離農者も増える
- 平成2年生産組合、平成6年営農組合を設立
コンバイン2台、トラクター1台を購入
- 平成18年重要文化的景観地区に選定
景観保全と営農活動について組合が中心となり
農地、景観の保全活動開始

重要文化的景観地区の選定を機にむらが大きく変わる

●住民参加の計画づくりを実施することで意識が変わった！

ほとんどの住民が集まり、今までにない、話し合いを実施する。

農業と景観を考えるワークショップを4回開催！

- ・景観について考えてもらう
 - ・地域にとっての景観とはなんだ
- ・地域の景観について再認識してもらう
 - ・地域の将来の農業はどのような？
- ・農業をどう継続していくか
- ・景観と調和した農業とは

老若男女、活発な意見が飛び通ったグループ討議

町内で一番
きれいな場所は
どこだろうね？

一番に整備した
らいいのは
どこかな？



景観農業振興地域整備計画を通じて①

「白王町を愛する気持ちは皆同じ」

「むらづくり活動は無限、それを展開していくのは我々の責任である・・・などの認識が芽生えた」

「とにかく何かをし始めよう」

「みんなでやれば何でもできる」

住民が景観に対する共通認識を持つことができた。

重要文化的景観地区選定を通じて②

「営農の継続することで地域の景観が守られる」

「これまでの地域での生活や営農の積み重ねによって今の景観ができあがっている」

「外部の人間のためでなく、自分たちのため、子や孫のための景観である」

先人が並々ならぬ苦勞をして築き上げた、農地「権座」

白王町の宝物「権座」を探しあてた！

権座（島状の田）



湖中堤防計画イメージ図



じつは権座が権座でなくなっていた



平成17年頃（12年前）の権座地区収穫風景

権座コンサート(平成18年～)



国際シンポジウム「文化的景観の動態保全」開催

主催：白王町鳩の会



海外より5名の教授を招く
国内の先生方も多数招いて、平成19年10月25日～27日の3日間開催する。



白王町住民案内による水郷めぐり

環境こだわり米

幻の酒米「滋賀渡船六号」の作付け

事業のために
とちぎのグリーンシャワーと
とちぎのほほえみが創る
特別契約栽培圃場

| | |
|-----|----------|
| 品種 | 滋賀渡船六号 |
| 生産者 | 白王町鳩の会 |
| 生産地 | 滋賀県近江八幡市 |
| 契約農 | 農多酒造㈱ |

JAグリーン滋賀農業部

「幻の酒米」復活
滋賀渡船六号



農の収穫感謝祭 in GONZA 開催



権座サポーターのつどい(新酒を楽しむ会)



インドネシアスマトラ島から農業視察 2016. 02



毎年実施している権座での親子田植え体験事業



秋にはみんなで手刈りしてハサ掛け天日干し





滋賀・近江八幡の水郷風景をまもるお酒、噂の純米吟醸『権座』今年もいよいよ解禁!!

“権座・水郷を守り育てる会”と『権座』8年目の船出を祝う 第6回地域再生大賞「優秀賞」受賞を祝う

権座 支援者のつどい



白王名物・大鍋を囲みながら
呑んで食べて、“権座”と『権座』を楽しく語ろう!!

水郷の風のように
さわやかに
里山の恵みのように
ふくらみのある
うまい生酒
当日試飲できます!!

2016年
3月27日(日)
11時~14時

会場: 白王町鳩の湖会館

参加費: 1,000円(飲食代含む)
小学生500円、未就学児無料

【主催】権座・水郷を守り育てる会 【協力】白王町自治会、白王町鳩の会
【運営】白王町集落営農組合・同女性部・白王町改良組合

新酒
権座
楽しみ
おひ

農事組合法人 白王町集落営農組合

活動のスローガン

「みんなで楽しい農業をしよう」

1. 出資金 40万円 (1戸10,000円)
2. 構成員37戸
3. 役員構成 理事9名 監事3名

組合規模

白王町総面積56ha 生産調整面積17.5ha
(麦17.5ha 黒豆8ha 権座大豆6.5ha 加工米3ha 水稻11ha)

集落ぐるみで取り組んだ事業

- 地域あげての生産調整（毎年100%麦大豆）
- ブランド化を目指して

丹波黒豆の作付（丹波黒豆5ha）

（近江（滋賀）黒豆3ha）

（権座大豆6ha）

※権座大豆は東京で加工し権座豆腐・権座味噌として販売

酒米（滋賀渡り船六号）の栽培

地酒「権座」の販売

- 年2回のイベント開催 3月新酒利き酒会
10月農の収穫感謝祭
- 平成19年 白王町鳩の会設立（まるごと保全活動）

まとめ

法人化して8年目、5年目で初期の目的達成

組合の目標である

- ①遊休農地は発生させない（0件）
- ②白王町のブランド作物（地酒権座・権座豆腐等）
- ③農家所得の倍増（従事分量配当金）
- ④楽しい農業（休日には常時5～6人参加）
- ⑤女性就労者（ママ友達中）の参画

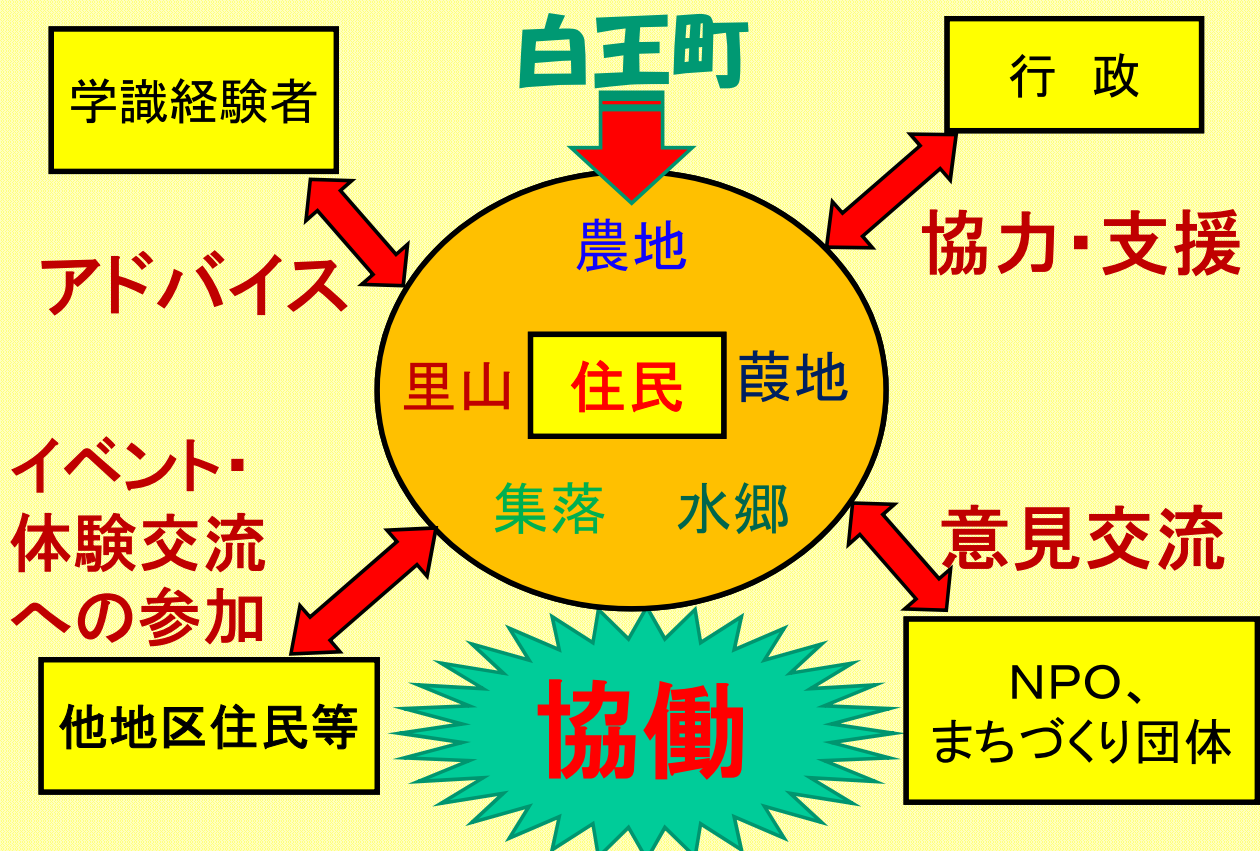
組合の課題

※収入が不安定（農産物作況状況・補助金関係）

ロマンとそろぼん

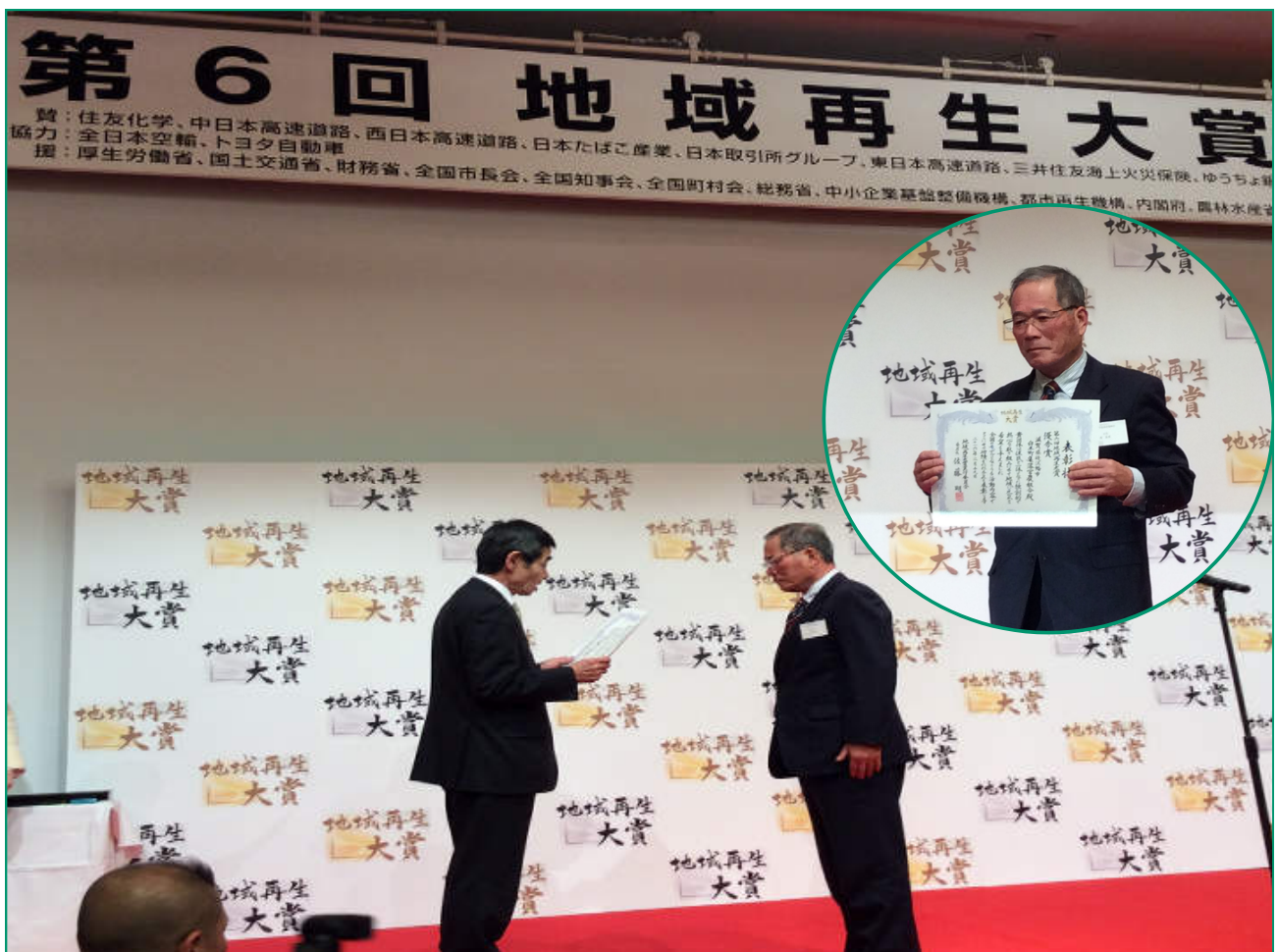


白王町において、なぜこのような取り組みができたのか？



これまでの取組みに関する表彰や国等の位置付け

- 平成18年1月 重要文化的景観選定「近江八幡の水郷」全国初
平成19年6月 重要文化的景観追加選定 白王の農地・里山・住居
- 平成20年1月 全国田園自然再生コンクール 朝日新聞社賞
- 平成20年2月 農が育む景観とふるさとづくり全国大会で事例発表
平成21年1月 「人と自然あふれる物語」日本の里100選 選出
- 平成21年11月 「人・生き物・にぎわう農村」 滋賀県知事賞受賞
平成22年4月 (財)農村開発企画委員会 農村計画学会賞受賞
平成22年4月 滋賀ロハス大賞 2009年度大賞 受賞
平成22年10月 豊かなむらづくり農林水産大臣賞受賞
平成24年3月 第7回美の里コンクール「審査員特別賞」受賞
平成24年10月 田園自然再生コンクール「地域資源活用賞」受賞
平成24年11月 あしたのまち・くらし活動賞「振興奨励賞」受賞
平成25年12月 日本ユネスコ協会「プロジェクト未来遺産」登録
平成27年12月 地域再生大賞「優秀賞」受賞 共同通信社主催





景観を守り、みんなで

楽しい農業に取り組もう！

**農業は一人でするのは
しんどいが、みんなで
やれば面白い夢がある！**

多くの仲間とフロンティア精神で



常にマイペースで一歩ずつ歩んでいきます

Let's Begin!

ご清聴ありがとうございました

**とにかく何かを
はじめよう!**



活動組織のご紹介

近江八幡市農村まるごと広域協議会 会長 東 房男

白王町鳩の会（白王町集落営農/権座・水郷を守り育てる会）

■主な活動歴■

- ・平成19年度に「白王町鳩の会」を設立し農地・水・環境保全向上対策に取り組む。
- ・平成30年度に「広域組織設立準備委員会」会長に就任し、市内58組織の広域化について、検討・調整を行う。
- ・平成31年4月「近江八幡市農村まるごと広域協議会」設立総会を開催し、広域組織を設立、運営委員会会長に就任し、広域組織の事業ならびに組織運営に尽力。

■主な受賞歴■

- 平成21年度 人・生き物・にぎわう農村表彰「滋賀県知事賞」（農地・水・環境保全向上対策）
- 平成22年度（財）農村開発企画委員会「農村計画学会賞」
- 平成22年度 豊かなむらづくり「農林水産大臣賞」
- 平成24年度 田園自然再生コンクール「地域資源活用賞」
- 平成24年度 あしたのまち・くらし活動賞「振興奨励賞」
- 平成27年度 共同通信社主催 地域再生大賞「優秀賞」